

氏ハ二人ノ主トル事ナケレバ、宣旨ナリトモエコソ内裏ヘハ參ルマジケレトテ、打過ケレバ、  
下略

〔保元物語二〕白川殿義朝夜討被寄事

四郎左衛門○中大炊御門ヲ西ヘ向テ防ケルガ、爰ヲ寄ルハ源氏カ平家カ、名乘レキカン、角申ハ、  
六條判官爲義ガ四男、前左衛門尉賴賢トゾ名乘ケル、河向ニ答テ云、下野守殿○源義ノ郎等、相模國  
ノ住人、首藤刑部丞俊通子息瀧口俊綱前陣ヲ承テ候ト申セバ、扱ハ一家ノ郎等ゴザンナレ、汝ヲ  
射ニアラズ、大將軍ヲ射ル也トテ、川越ニ矢二ツ放ツ○中安藝守○平清盛ハ、二條川原ノ東堤ノ西ニ  
向テ引ヘタリ、其勢ノ中ヨリ五十騎計先陣ニ進ンデ押寄タリ、爰ヲ堅メ給ハ誰人ゾ、名ノラセ給  
ヘ、角申ハ安藝守殿ノ郎等ニ、伊勢國ノ住人故市伊藤武者景綱、同伊藤五伊藤六トゾ名乘ケル、八  
郎是ヲ聞、汝ガ主ノ清盛ヲダニ、アハヌ敵ト思ナリ、平家ハ柏原天皇○桓武ノ御末ナレドモ、時代久  
ク成下レリ、源氏ハ誰カハシラヌ、清和天皇ヨリ爲朝マデハ九代也、六孫王基經ヨリ七代八幡殿  
家○義ノ孫、六條判官爲義ガ八男、鎮西ノ八郎爲朝ゾ、景綱ナラバ引退ケトゾ宣ヒケル、

〔保元物語二〕白河殿攻落事

相模國住人大庭平太景能同三郎景親、眞前ニ進ンデ申ケルハ、八幡殿後三年ノ合戦ニ、出羽國金  
澤ノ城ヲ責給シ時、十六歳ニシテ、軍ノ眞前懸、鳥海三郎ニ、左ノ眼ヲ甲ノ鉢付ノ板ニ乍被射付當  
ノ矢ヲ射返テ、其敵ヲ取シ鎌倉權五郎景正ガ末葉、大庭平太景親トゾ名乗タル、

〔平治物語二〕待賢門軍附信賴落事

左衛門佐重盛、五百餘騎ヲバ大宮面ニ残シ置、五百餘騎ニテ押寄テ呼リ給ケルハ、此門ノ大將軍  
ハ信賴卿ト見ルハ僻目歟角申ハ桓武天皇苗裔、太宰大貳清盛ガ嫡子、左衛門佐重盛、生年二十三  
ト名乗懸ケレバ、信賴返事ニモ不及、ソレ防ゲ侍共トテ引退ク、大將ノ引給間、防侍一人モナシ、我